



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月11日

上場会社名 黒崎播磨株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 5352 URL <https://www.krosaki.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 江川 和宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員総務人事部長 (氏名) 本田 雅也

TEL 093-622-7224

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	137,395	3.5	9,387	11.0	9,764	13.5	6,444	18.1
2019年3月期	142,347	14.8	10,543	24.1	11,289	25.6	7,868	39.1

(注) 包括利益 2020年3月期 3,796百万円 (30.4%) 2019年3月期 5,456百万円 (28.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	765.04		12.0	7.4	6.8
2019年3月期	933.76		14.8	8.5	7.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 466百万円 2019年3月期 402百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	126,942	57,233	42.7	6,436.93
2019年3月期	135,422	56,236	39.2	6,297.94

(参考) 自己資本 2020年3月期 54,222百万円 2019年3月期 53,059百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	9,068	7,044	3,475	3,785
2019年3月期	10,270	2,265	6,721	5,376

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		100.00		180.00	280.00	2,359	30.0	4.4
2020年3月期		100.00		120.00	220.00	1,853	28.8	3.5
2021年3月期(予想)								

2021年3月期の第2四半期末及び期末の配当予想額については、親会社株主に帰属する当期純利益に係る予想が未定であるため、未定です。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の第2四半期及び通期の連結業績予想については、現時点で合理的な算定が困難であるため、未定です。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。詳細は、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況」(4)今後の見通しをご覧ください。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	9,114,528 株	2019年3月期	9,114,528 株
期末自己株式数	2020年3月期	690,843 株	2019年3月期	689,573 株
期中平均株式数	2020年3月期	8,424,418 株	2019年3月期	8,426,452 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	96,013	5.5	5,409	6.1	6,855	5.1	5,048	17.7
2019年3月期	101,556	9.7	5,762	6.0	7,222	1.0	6,130	14.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	599.21	
2019年3月期	727.51	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	104,656		50,139		47.9		5,952.23	
2019年3月期	110,192		48,016		43.6		5,699.28	

(参考) 自己資本 2020年3月期 50,139百万円 2019年3月期 48,016百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況」(4)今後の見通しをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く経済環境は、当初は国内・海外とも緩やかな景気回復が続いていましたが、第2四半期以降大規模な自然災害が多発し悪影響が顕在化するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により一気に厳しい局面を迎えることになりました。

当社グループの主要得意先である鉄鋼業界における当連結会計年度の国内粗鋼生産量は未公表ですが、リーマン・ショック直後の2009年度以来10年ぶりに1億トンの大台を割り込む9,000万トン台となり、3年連続で前年度実績を下回る見込みです。

このような状況下、当社グループでは、2020年中期経営計画の基本方針である「世界第一級の鉄鋼用総合耐火物メーカー」の地位確立を目指し、当連結会計年度において、設備投資の積極化等収益の拡大に向けた各種取り組みを実施いたしました。

当連結会計年度における当社グループの経営成績は次のとおりです。

[売上高]

粗鋼生産量の減少に伴う耐火物需要の減少や、ファーンレス事業での大型案件の端境期に伴う受注減等により、売上高は、前連結会計年度に比べ3.5%減収の1,373億95百万円となりました。

[損益]

売上高の減少等により、営業利益は、前連結会計年度に比べ11.0%減益の93億87百万円、経常利益は、同13.5%減益の97億64百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、同18.1%減益の64億44百万円となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりです。

なお、各セグメントの売上高は外部顧客への売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれていません。また、セグメント利益は営業利益ベースです。

[耐火物事業] (各種工業窯炉に使用する耐火物全般の製造販売)

売上高は、粗鋼生産量の減少に伴う耐火物需要の減少等により、前連結会計年度に比べ2.0%減収の1,142億78百万円となりました。利益は、為替影響及びコストダウンの進展等により、同2.9%増益の69億76百万円となりました。

[ファーンレス事業] (各種窯炉の設計施工及び築造修理)

売上高は、大型案件の端境期に伴う受注減等により、前連結会計年度に比べ12.6%減収の147億65百万円となりました。利益は、売上高の減少等により、同52.9%減益の8億79百万円となりました。

[セラミックス事業] (各種産業用ファインセラミックスの製造販売及び景観材の販売)

売上高は、主力ユーザーである電子部品業界からの需要が減少したこと等により、前連結会計年度に比べ7.7%減収の67億14百万円となりました。利益は、売上高の減少等により、同33.8%減益の7億75百万円となりました。

[不動産事業] (店舗・倉庫等の賃貸)

売上高は、前連結会計年度に比べ7.7%減収の8億31百万円、利益は、同3.3%減益の7億6百万円となりました。

[その他] (製鉄所向け石灰の製造販売)

売上高は、前連結会計年度に比べ17.5%増収の8億5百万円、損益は、64百万円の損失(前連結会計年度は5百万円の利益)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ84億79百万円減少して、1,269億42百万円となりました。流動資産は同83億5百万円減少の807億88百万円、固定資産は同1億73百万円減少の461億54百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、売上減に伴う受取手形及び売掛金の減少です。設備投資の完工に伴い有形固定資産は増加したものの、株式売却及び株価下落に伴う投資有価証券の減少等により投資その他の資産が減少し、固定資産も減少しました。

②負債

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末に比べ94億76百万円減少して、697億9百万円となりました。流動負債は同166億3百万円減少の460億99百万円、固定負債は同71億26百万円増加の236億10百万円となりました。

流動負債減少及び固定負債増加の主な要因は、短期借入金の減少及び長期借入金の借換タイミングです。

③純資産

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ9億97百万円増加して、572億33百万円となりました。

純資産増加の主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加です。

この結果、自己資本比率は42.7%となりました。

また、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末の6,297円94銭から6,436円93銭となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は、前連結会計年度末に比べ15億90百万円減少し、37億85百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は90億68百万円(前連結会計年度は102億70百万円の収入)となりました。

主な内訳は、税金等調整前当期純利益94億87百万円、売上債権の減少額51億88百万円、法人税等の支払額47億44百万円、仕入債務の減少額37億71百万円、減価償却費31億58百万円です。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は70億44百万円(前連結会計年度は22億65百万円の支出)となりました。

主な内訳は、設備等固定資産の取得による支出73億76百万円です。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は34億75百万円(前連結会計年度は67億21百万円の支出)となりました。

主な内訳は、長期借入れによる収入98億51百万円、長期借入金の返済による支出66億円、短期借入金の減少額59億97百万円です。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済的、社会的な混乱の収束が世界的に見通せない中、当社グループの主要得意先である国内外の鉄鋼業界の減産が続いており、鉄鋼会社向け耐火物の販売数量・販売価格が不明であること及び為替変動等に伴う原料価格・調達価格の変化が不透明であることから、2021年3月期の第2四半期及び通期の連結業績予想については、現時点で合理的な算定が困難であるため、未定です。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループはグローバル展開を推進していますが、当面は日本基準の連結財務諸表を採用することとしています。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,378	3,787
受取手形及び売掛金	53,112	47,539
商品及び製品	12,348	12,750
仕掛品	3,870	3,520
原材料及び貯蔵品	10,815	9,920
その他	3,913	3,579
貸倒引当金	△344	△310
流動資産合計	89,094	80,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,057	41,693
減価償却累計額	△28,443	△28,956
建物及び構築物（純額）	10,614	12,737
機械装置及び運搬具	62,232	64,208
減価償却累計額	△53,788	△54,316
機械装置及び運搬具（純額）	8,444	9,892
工具、器具及び備品	4,557	4,627
減価償却累計額	△3,807	△3,754
工具、器具及び備品（純額）	750	872
土地	6,856	6,810
建設仮勘定	3,017	2,842
有形固定資産合計	29,684	33,155
無形固定資産		
のれん	5,742	4,784
その他	496	523
無形固定資産合計	6,238	5,308
投資その他の資産		
投資有価証券	6,475	5,122
長期貸付金	0	—
退職給付に係る資産	1,963	770
繰延税金資産	471	437
その他	1,666	1,531
貸倒引当金	△174	△171
投資その他の資産合計	10,404	7,690
固定資産合計	46,328	46,154
資産合計	135,422	126,942

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,407	13,579
電子記録債務	7,944	6,025
短期借入金	17,164	6,805
コマーシャル・ペーパー	7,000	9,000
未払法人税等	2,698	504
賞与引当金	2,757	2,752
工事損失引当金	243	81
環境対策引当金	1,013	68
その他	7,473	7,280
流動負債合計	62,702	46,099
固定負債		
長期借入金	11,785	18,914
繰延税金負債	280	56
役員退職慰労引当金	550	560
製品保証引当金	2	1
退職給付に係る負債	605	589
資産除去債務	25	25
その他	3,234	3,464
固定負債合計	16,483	23,610
負債合計	79,186	69,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,537	5,537
資本剰余金	2,000	2,000
利益剰余金	46,771	50,794
自己株式	△1,633	△1,641
株主資本合計	52,676	56,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,598	1,041
繰延ヘッジ損益	15	0
為替換算調整勘定	△1,508	△3,052
退職給付に係る調整累計額	277	△458
その他の包括利益累計額合計	383	△2,469
非支配株主持分	3,176	3,010
純資産合計	56,236	57,233
負債純資産合計	135,422	126,942

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	142,347	137,395
売上原価	115,383	110,920
売上総利益	26,964	26,475
販売費及び一般管理費	16,420	17,088
営業利益	10,543	9,387
営業外収益		
受取利息	23	28
受取配当金	149	167
持分法による投資利益	402	466
為替差益	307	195
投資有価証券売却益	282	—
その他	420	317
営業外収益合計	1,586	1,174
営業外費用		
支払利息	363	356
固定資産撤去費	69	134
支払補償費	111	—
その他	296	306
営業外費用合計	840	797
経常利益	11,289	9,764
特別利益		
固定資産売却益	794	100
投資有価証券売却益	1,695	123
為替換算調整勘定取崩益	—	25
その他	—	0
特別利益合計	2,490	249
特別損失		
固定資産売却損	5	0
固定資産除却損	131	93
関係会社株式売却損	—	10
関係会社出資金評価損	—	118
減損損失	22	—
和解金	117	—
環境対策費	1,170	299
その他	12	4
特別損失合計	1,460	526
税金等調整前当期純利益	12,319	9,487
法人税、住民税及び事業税	4,207	2,221
法人税等調整額	△554	359
法人税等合計	3,652	2,580
当期純利益	8,666	6,907
非支配株主に帰属する当期純利益	798	462
親会社株主に帰属する当期純利益	7,868	6,444

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	8,666	6,907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,005	△557
繰延ヘッジ損益	△7	△15
為替換算調整勘定	△919	△1,657
退職給付に係る調整額	△216	△736
持分法適用会社に対する持分相当額	△62	△143
その他の包括利益合計	△3,210	△3,110
包括利益	5,456	3,796
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,816	3,592
非支配株主に係る包括利益	640	203

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,537	5,108	40,809	△1,610	49,845
当期変動額					
剰余金の配当			△1,854		△1,854
親会社株主に帰属する当期純利益			7,868		7,868
自己株式の取得				△23	△23
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△3,107			△3,107
その他			△52		△52
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△3,107	5,961	△23	2,830
当期末残高	5,537	2,000	46,771	△1,633	52,676

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	3,604	23	△685	493	3,435	4,474	57,755
当期変動額							
剰余金の配当							△1,854
親会社株主に帰属する当期純利益							7,868
自己株式の取得							△23
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							△3,107
その他							△52
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,006	△7	△822	△216	△3,052	△1,298	△4,350
当期変動額合計	△2,006	△7	△822	△216	△3,052	△1,298	△1,519
当期末残高	1,598	15	△1,508	277	383	3,176	56,236

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,537	2,000	46,771	△1,633	52,676
当期変動額					
剰余金の配当			△2,358		△2,358
親会社株主に帰属する当期純利益			6,444		6,444
自己株式の取得				△7	△7
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
その他			△63		△63
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	4,022	△7	4,015
当期末残高	5,537	2,000	50,794	△1,641	56,691

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	1,598	15	△1,508	277	383	3,176	56,236
当期変動額							
剰余金の配当							△2,358
親会社株主に帰属する当期純利益							6,444
自己株式の取得							△7
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							—
その他							△63
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△556	△15	△1,544	△736	△2,852	△165	△3,018
当期変動額合計	△556	△15	△1,544	△736	△2,852	△165	997
当期末残高	1,041	0	△3,052	△458	△2,469	3,010	57,233

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	12,319	9,487
減価償却費	2,731	3,158
減損損失	22	—
のれん償却額	415	488
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	153	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	280	5
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	1,013	△945
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	43	△0
その他の引当金の増減額 (△は減少)	161	△146
受取利息及び受取配当金	△172	△196
支払利息	363	356
為替差損益 (△は益)	△5	△53
持分法による投資損益 (△は益)	△402	△466
固定資産売却損益 (△は益)	△789	△99
固定資産除却損	131	93
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,972	△123
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	10
関係会社出資金評価損益 (△は益)	—	118
売上債権の増減額 (△は増加)	586	5,188
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,121	106
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,115	△3,771
その他	124	193
小計	12,999	13,401
利息及び配当金の受取額	321	759
利息の支払額	△366	△348
法人税等の支払額	△2,684	△4,744
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,270	9,068

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△4,332	△7,376
固定資産の売却による収入	1,613	147
固定資産の除却による支出	△255	△235
定期預金の預入による支出	—	△0
定期預金の払戻による収入	58	—
投資有価証券の売却による収入	2,622	342
関係会社株式の売却による収入	—	71
貸付けによる支出	△23	△2
貸付金の回収による収入	16	17
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,861	—
その他	△103	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,265	△7,044
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	4,499	△5,997
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△6,000	2,000
長期借入れによる収入	4,698	9,851
長期借入金の返済による支出	△3,020	△6,600
自己株式の取得による支出	△23	△7
配当金の支払額	△1,849	△2,355
非支配株主への配当金の支払額	△169	△125
非支配株主への清算分配金の支払額	—	△226
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△4,854	—
その他	△2	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,721	△3,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	△178	△140
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,104	△1,590
現金及び現金同等物の期首残高	4,271	5,376
現金及び現金同等物の期末残高	5,376	3,785

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「耐火物事業」、「ファーンネス事業」、「セラミックス事業」及び「不動産事業」の4つを報告セグメントとしています。

「耐火物事業」は各種工業窯炉に使用する耐火物全般の製造販売を行っています。「ファーンネス事業」は各種窯炉の設計施工及び築造修理を行っています。「セラミックス事業」は各種産業用ファインセラミックスの製造販売及び景観材の販売を行っています。「不動産事業」は社有地に店舗・倉庫等を建設し賃貸を行っています。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表計上 額(注)3
	耐火物 事業	ファーネ ス事業	セラミッ クス事業	不動産 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	116,583	16,901	7,275	900	141,661	685	142,347	—	142,347
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	380	—	—	387	—	387	△387	—
計	116,590	17,281	7,275	900	142,048	685	142,734	△387	142,347
セグメント利益	6,779	1,866	1,172	730	10,549	5	10,554	△11	10,543
セグメント資産	109,913	10,495	7,047	1,128	128,585	220	128,805	6,616	135,422
その他の項目									
減価償却費	2,125	369	125	31	2,651	11	2,662	68	2,731
のれんの償却額	403	—	12	—	415	—	415	—	415
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	4,793	1,276	249	17	6,337	8	6,345	37	6,383

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製鉄所向け石灰の製造販売です。

2 調整額は、以下のとおりです。

- (1) セグメント利益の調整額△11百万円には、セグメント間取引消去△387百万円及び報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異375百万円が含まれています。
- (2) セグメント資産の調整額6,616百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、親会社の長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等です。
- (3) その他の項目の減価償却費の調整額68百万円及び有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額37百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものです。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表計上 額(注)3
	耐火物 事業	ファーネ ス事業	セラミッ クス事業	不動産 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	114,278	14,765	6,714	831	136,589	805	137,395	—	137,395
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	447	—	—	462	—	462	△462	—
計	114,293	15,212	6,714	831	137,052	805	137,858	△462	137,395
セグメント利益又は 損失(△)	6,976	879	775	706	9,338	△64	9,274	113	9,387
セグメント資産	102,693	9,123	7,914	1,124	120,856	289	121,145	5,797	126,942
その他の項目									
減価償却費	2,386	479	196	10	3,072	8	3,081	76	3,158
のれんの償却額	476	—	12	—	488	—	488	—	488
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	4,386	1,126	1,075	96	6,685	12	6,697	437	7,135

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製鉄所向け石灰の製造販売です。

2 調整額は、以下のとおりです。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額113百万円には、セグメント間取引消去△462百万円及び報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異575百万円が含まれています。
 - (2) セグメント資産の調整額5,797百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、親会社の長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等です。
 - (3) その他の項目の減価償却費の調整額76百万円及び有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額437百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものです。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

4 地域ごとの売上高

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

日本	インド	アジア	欧州	その他	合計
90,768	23,025	8,495	10,222	9,835	142,347

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

日本	インド	アジア	欧州	その他	合計
86,380	22,874	7,145	11,967	9,028	137,395

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	6,297円94銭	6,436円93銭
1株当たり当期純利益	933円76銭	765円04銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載していません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	7,868	6,444
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	7,868	6,444
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,426	8,424

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	56,236	57,233
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	3,176	3,010
(うち非支配株主持分)(百万円)	(3,176)	(3,010)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	53,059	54,222
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	8,424	8,423

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

四半期毎の経営成績の推移

(単位：百万円)

	前期				当期			
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)
売上高	35,445	36,051	37,189	33,660	35,342	35,497	34,355	32,200
営業利益	2,957	2,479	3,011	2,094	2,342	2,547	2,137	2,359
経常利益	3,092	2,676	3,035	2,484	2,350	2,572	2,372	2,468
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,957	1,696	2,291	1,922	1,498	1,667	1,600	1,677